

[要点]

- (1) 18世紀後半に老中ろうじゅうになった田沼意次たぬまおきつぐは、商工業者しょうこうぎやに同業者どうぎやの株仲間かぶなかまをつくることを認め、営業を独占させるかわりに税を納めさせた。
- (2) また、田沼意次たぬまおきつぐは、蝦夷地えぞちの開拓を計画し、長崎ながさきでの貿易もさかんにしようとした。しかし、大商人と結びついたためいろいろが横行し、政治が乱れた。
- (3) 18世紀後半、浅間山あさまやまが大爆発だいばくはつがおこり、その火山灰の影響で凶作きょうさくが続き、天明てんめいのききんがおこり、農村では百姓ひやくしやう一揆いっぎが、都市では打ちこわしが頻発した。
- (4) こうしたなかで、老中の田沼意次たぬまおきつぐは失脚し、かわって白河藩主まつだいらさだのぶの松平定信まつだいらさだのぶが老中としてむかえられ、寛政かんせいの改革をおこなった。
- (5) 松平定信まつだいらさだのぶは、農民の都市への出かせぎを禁止した。また、旗本や御家人の借金を帳消しにした。さらに、昌平しょうへい坂学問所ざかがくもんじょでは朱子学しゅうしがく以外の学問を禁止した。

[A問題：要点確認]

- (1) ()世紀後半に老中ろうじゅうになった田沼意次たぬまおきつぐは、商工業者しょうこうぎやに同業者どうぎやの()をつくることを認め、営業を独占させるかわりに税を納めさせた。
- (2) 18世紀後半に()になった()は、商工業者しょうこうぎやに同業者どうぎやの株仲間かぶなかまをつくることを認め、営業を独占させるかわりに税を納めさせた。
- (3) また、田沼意次たぬまおきつぐは、()の開拓を計画し、長崎ながさきでの貿易もさかんにしようとした。しかし、大商人と結びついたためいろいろが横行し、政治が乱れた。
- (4) また、田沼意次たぬまおきつぐは、蝦夷地えぞちの開拓を計画し、()での貿易もさかんにしようとした。しかし、大商人と結びついたため()が横行し、政治が乱れた。
- (5) 18世紀後半、浅間山あさまやまが大爆発だいばくはつがおこり、その火山灰の影響で凶作きょうさくが続き、()のききんがおこり、農村では()が、都市では打ちこわしが頻発した。
- (6) 18世紀後半、()山が大爆発だいばくはつがおこり、その火山灰の影響で凶作きょうさくが続き、天明てんめいのききんがおこり、農村では百姓ひやくしやう一揆いっぎが、都市では()が頻発した。
- (7) こうしたなかで、老中ろうじゅうの田沼意次たぬまおきつぐは失脚し、かわって白河藩主しらかわの()が老中としてむかえられ、寛政かんせいの改革をおこなった。
- (8) こうしたなかで、老中ろうじゅうの()は失脚し、かわって白河藩主しらかわの松平定信まつだいらさだのぶが老中としてむかえられ、()の改革をおこなった。
- (9) 松平定信まつだいらさだのぶは、農民の都市への出かせぎを禁止した。また、旗本はたもとや御家人ごけにんの借金を帳消しにした。さらに、昌平しょうへい坂学問所ざかがくもんじょでは()以外の学問を禁止した。

[B問題]

- (1) 18世紀後半に老中になった人物で、蝦夷地の開拓や長崎貿易の拡大など収入を増やして幕府財政の建て直しをはかろうとしたのは誰か。
- (2) 田沼意次は同業の商工業者がつくる()を認めて営業を独占させるかわりに一定の税を納めさせて財政収入を増やそうとした。
- (3) 18世紀後半、浅間山が大爆発がおこり、その火山灰の影響で凶作が続き、大ききんがおこったが、このききんを何というか。
- (4) 生活が苦しくなった農民は年貢の引き下げや商品作物の自由な売買を訴え、それが聞き入れられないときには竹槍などで武装して()を起こした。
- (5) 江戸や大坂では、都市の貧しい人々が、米の売り惜しみをする商人などをおそう()を起こした。
- (6) 松平定信が行った改革は何か。
- (7) 寛政の改革は何年からか。
- (8) 松平定信は昌平坂学問所では、()以外の学問を禁止した。

[解答] (1) 田沼意次 (2) 株仲間 (3) 天明のききん (4) 百姓一揆 (5) 打ちこわし
(6) 寛政の改革 (7) 1787年 (8) 朱子学

[C問題]

- (1) 田沼意次が老中になったのは何世紀のいつ頃か。
- (2) 田沼意次は、財政収入を増やすことで財政の建て直しを図ろうとして、新田や鉱山の開発を行ったが、さらに、この当時はまだ未開発のままだった()を開拓することを計画した。
- (3) 田沼の政治は、大商人と結びついたために()が横行した。
- (4) 天明のききんの原因の一つは、ある火山が爆発を起こして火山灰をふらせたためであるが、この山は何か。
- (5) 百姓一揆のときの訴え状に署名するとき、傘連判を用いたが、これはなぜか。
- (6) 天明のききんのとき、百姓一揆や打ちこわしなどが頻発したが、その責任をとって老中をやめさせられたのは誰か。
- (7) 寛政の改革を行ったのは誰か。
- (8) 「白河の清きに魚のすみかねて、もとの濁りの田沼恋しき」という狂歌があるが、「白河」とは誰のことが。
- (9) 寛政の改革のとき、松平定信は朱子学以外の学問を禁じたが、これを何というか。
- (10) 大名に1万石につき50石の米を蓄えさせた政策を何というか。

【解答】 (1)18世紀後半 (2)蝦夷地^{えぞち} (3)わいろ (4)浅間山^{あさまやま} (5)誰が指導者であるかわからな
いようにするため (6)田沼意次^{たぬまおきつぐ} (7)松平定信^{まつだいらさだのぶ} (8)松平定信^{まつだいらさだのぶ} (9)寛政異学の禁
(10)画米^{かこいまい}の制

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdText 社会(6,200 円)を PDF 形式に変換したサンプルで印刷はできないようになっています。製品版の FdText 社会は Word(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。さらに、製品版には、この問題解答一体形式のほかに、問題解答分離形式を収録していますので、購入後、ただちに印刷して使うことができます。

FdText 社会の全 PDF ファイル、他の科目(数学・英語・理科・国語)の各 PDF ファイル、および製品版の購入方法は、<http://www.fdtype.com/txt/index.html> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、お使いになっている Windows にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイルを閲覧することができます。この PDF ファイルは、印刷・編集はできませんが、試験前に、画面を見ながら目で問題を解いていただいても一定の学習効果が期待できます。

[FdData 無料閲覧ソフト]ダウンロードのページ：<http://www.fdtype.com/lnk/dwn2.html>

